

コミュニティ

地域社会との双方向で継続的な対話活動

◆◆◆ 方針・考え方 ◆◆◆

● 全体方針

当社グループは、地域や生活に密着した事業者として、事業活動に関わる地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえない、という認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取組みを通じて、地域社会の発展に積極的に貢献します。

● 地域社会への積極的な情報発信と密接なコミュニケーション

地域社会のみならず「共に考え、共に未来を創る」という想いのもと、2012年4月に総合企画本部（当時）内に地域エネルギー部門を発足させました。その後、2015年6月に総合企画本部から独立した組織として、地域エネルギー本部を設置しました。地域社会のみならずとのコミュニケーションを密接にすることで、信頼関係を構築し、多岐にわたるご要望に対して、より積極的にお応えできるように努めています。

さらに、2020年4月の分社化後は、電力のレジリエンスの強化等に対する社会的要請の高まりを踏まえ、関西エリアにおいて面的に設備を所有し、引き続き長期に亘り地域に関わる関西電力送配電（株）を、当社グループと地域との窓口として体制整備をしました。今後とも、地域社会のみならずと一層密接なコミュニケーションを推進し、地域社会の活性化と発展をめざしてまいります。

◆◆◆ 体制 ◆◆◆

● 地域対応体制

関西電力（株）：地域エネルギー本部

関西電力送配電（株）：地域コミュニケーション部

◆◆◆ 取組み ◆◆◆

● 各種会議体参加等による積極的な情報交換

関西広域連合委員会をはじめとした行政の会議体などに出席し、電力需給状況、電気料金、原子力運営などについてご説明するとともに、様々なご意見を頂戴するなどして、情報交換を実施しています。頂戴したご意見などを踏まえ、地域におけるエネルギーの諸課題の解決に向けて、積極的に協力しています。また近年、台風等自然災害の甚大化への対応が急務となる中、防災面でも各自治体との連携を強化しています。



行政事務局との情報交換

● 行政事務局との日常的なコミュニケーション

日ごろから行政の事務局と相互にコミュニケーションを実施し、ご質問やご要望を頂戴した場合は、勉強会や見学会を開催するなどして、丁寧にお応えしています。



エネルギーに関する勉強会（施設見学会）

自治体へのご理解促進活動
(2019年度)

5,100回

「お客さまや社会とともに創る”サステナブルコミュニティ”」

◆◆◆方針・考え方◆◆◆

●地域の活性化に向けた取り組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギーに関するニーズが多様化するなか、当社グループはこうしたニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみなさまの良きパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」という想いをもちながら、地域活性化と持続的発展に向けた取り組みを進めています。

◆◆◆目 標◆◆◆

ステークホルダーと連携した需要の維持・創造

◆◆◆取り組み◆◆◆

●地域活性化への積極的な貢献と当社事業の成長にむけた取り組み

当社グループは、再生可能エネルギーや未利用エネルギー、水素など、地域の資源や特性を最大限活用し、家庭やオフィス、工場などをICTでつなぐことで、地域全体のエネルギー需給を最適化するスマートコミュニティへの取り組みを、関西地域はもちろん、関西以外の地域にも活動領域を展開してきました。

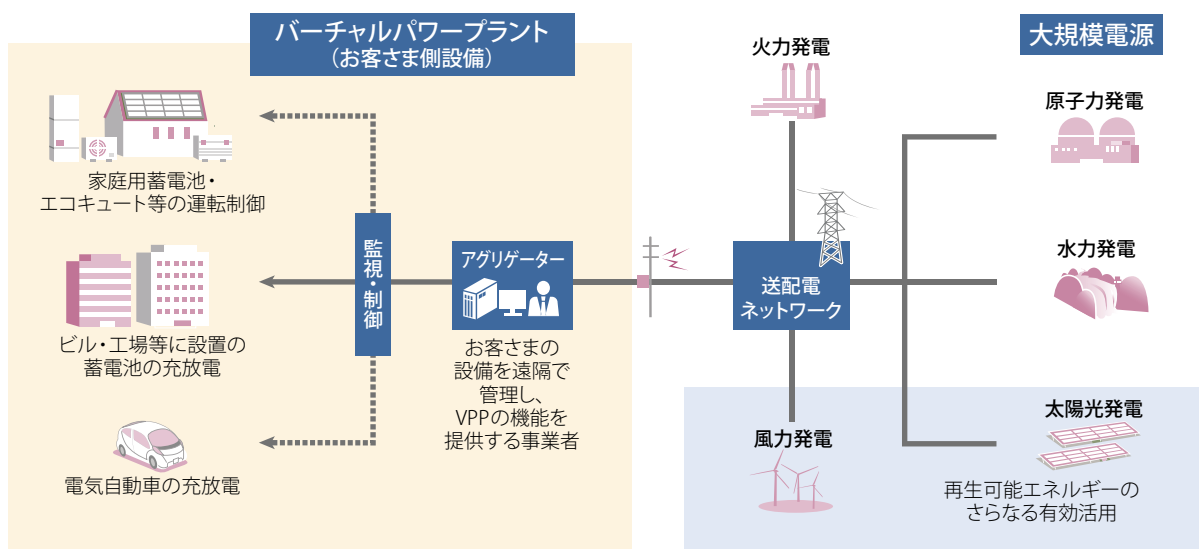
また最近では、エネルギー分野にとどまらず、様々な分野の課題解決策を取り入れた持続可能なコミュニティの実現をめざす取り組みが増えています。

当社グループは、スマートコミュニティを含め、そうした課題解決型コミュニティを「サステナブルコミュニティ」と位置づけ、その実現に取り組んで参ります。

また、新たな技術への対応として、電力の需給バランスの調整方法として最近注目されているバーチャルパワープラント（VPP）*の構築に向け、実証事業を進めるとともに、VPPの運営をサポートする統合プラットフォームシステム「K-VIPs」の運用も開始しました。本技術を活用し、系統安定化コストの低減を図り、再生可能エネルギーの導入拡大を支えし、地域全体のエネルギー管理の最適化にむけた取り組みも加速していく予定です。

*各所に分散しているリソース（蓄電池、電気自動車等）を、IoTを活用して遠隔で統合制御し、あたかも一つの発電所のように機能させること

◆「バーチャルパワープラント構築実証事業」のイメージ



地域・コミュニティとの共生

◆◆◆方針・考え方◆◆◆

●地域・コミュニティとの共生に向けた活動の実施

当社グループの事業活動や社会貢献活動などを通して、地域が抱える課題の解決や地域の活性化に貢献し、地域・コミュニティとの共生を図っていきます。

◆◆◆体制◆◆◆

関西電力（株）：広報室

関西電力送配電（株）：地域コミュニケーション部

◆◆◆目標◆◆◆

地域・コミュニティとの共生に向けた積極的な貢献

◆◆◆取組み◆◆◆

●地域社会への貢献活動

消防署と連携した寺社などの文化財の電気設備点検、地域に根ざした伝統文化や地域行事に協力しているほか、地域のみなさまと連携した美化活動等に取り組んでいます。



歴史建造物「鍵屋資料館」の電気設備点検



春日大社の清掃



地域清掃活動

●災害復旧に向けた取組み

台風等による非常災害時には、早期復旧に向けた現場対応や関係自治体等との連携、供給管外への応援派遣など、供給管内・管外問わず、当社グループ一丸となって電力の安全・安定供給のために取り組んでいます。



供給管外への応援派遣(2019年10月 台風19号)



応急送電の準備作業(千葉県東金市 2019年9月 台風15号)

●グローバルな社会課題の解決への貢献

WASSHA 株式会社との業務提携により、アフリカ未電化地域向けにLEDランタンのレンタルサービスを展開するなど、グローバルな社会課題・ニーズを踏まえた新たな価値を提供していきます。



ランタンを使用するアフリカの子供たち



アフリカ開発会議(TICAD7)での様子

●社会福祉への取組み

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また作品をごらんいただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「かんでんコラボ・アート」を開催しています。入選作品は展示会やホームページなどを通じて紹介しています。



公開展示会(堂島リバーフォーラム)



巡回展示会(神戸らんぶミュージアム)

●芸術・文化活動、次世代育成支援

絵画美術展の実施やクラシックコンサートの公演会場の提供、親子向けの人形劇の実施など、地域文化の振興や次世代育成に取り組んでいます。



美浜美術展



大阪クラシック



かんでんファミリー劇場

●発電所立地地域との共存共栄

当社は地域社会の一員として、発電所立地地域における地域経済の活性化やまちづくり検討、地域行事の運営等に協力し、地域社会への貢献、活性化の取組みを地域のみなさまとともに進めています。



美浜・五木ひろしふるさとマラソンの運営協力



若狭高浜ふぐまつり&高浜町産業まつりへの出店

●社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などを設けています。また、社内ポータルサイトにある「社会貢献サイト」では、ボランティア情報や各事業所での活動事例などを発信しています。

ボランティア休暇取得実績
(2019年度)

87件(201日)

社内外との積極的なコミュニケーションの推進

◆◆◆方針・考え方◆◆◆

●広報・広聴活動を通じた社内外とのコミュニケーション

広報・広聴活動を通して、ステークホルダーのみなさまに適切に情報発信をおこない、当社グループ事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

また、このような活動を通じて、当社グループ事業への理解獲得を図るとともに、ブランドステートメント「power with heart」に込めた想いのもと、透明性の高い開かれた事業活動を展開していきます。

◆◆◆体制◆◆◆

関西電力（株）：広報室

関西電力送配電（株）：地域コミュニケーション部



◆◆◆目 標◆◆◆

当社グループ事業の理解獲得と
企業姿勢の共感を通じたブランド価値の向上

◆◆◆ 取組み ◆◆◆

● 情報開示の充実

株主のみなさまをはじめとしたステークホルダーのみなさまに向けて、有価証券報告書やコーポレートガバナンス報告書、統合報告書等にて会社の財務状態・経営成績等の財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る非財務情報等について、積極的に開示を行っています。その際、会社法等の法令で定められる内容のみならず、株主をはじめとするステークホルダーのみなさまとの対話に有用と考えられる情報については、正確かつ具体的な内容で開示するなど、付加価値の高い説明となるよう努めています。また海外投資家のみなさまに向けての情報提供として必要に応じて英語版の媒体を作成しています。

当社グループは、株主・投資家との建設的な対話を促進し、法令遵守をはじめとする当社グループの基本姿勢や中期経営計画等をはじめとする経営の基本方針についてのご理解を得るとともに、いただいた建設的な意見を経営に反映することで、ステークホルダーのみなさまからの信頼を回復したうえで、長期に亘り確固たる信頼関係を築いていきます。

● 報道機関への対応

テレビや新聞が報じる情報は、お客さまの当社グループに対するご理解やイメージを大きく左右します。そこで、社長会見をはじめ、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ確に対応し、当社グループ事業への理解促進を図っています。

● マスメディアを通じた情報発信

ブランドステートメント「power with heart」に関する取組みをはじめ、当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまに適時的確にお伝えするため、さまざまなマスメディアを活用しています。

テレビCMや新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特長を活かした情報発信をおこない、当社グループ事業への理解獲得を図っていきます。

◆ テレビCM・新聞広告

映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えできるテレビCMや、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特長を活かした情報発信をおこなっています。

● Webを活用した情報発信

当社グループでは、Webメディア環境の多様化にあわせ、ホームページ、ソーシャルメディア、Web動画を中心に、メディアの特性に応じた情報発信を通じて、より多くのお客さまとのコミュニケーションに努めています。

◆ ホームページによる情報発信

ホームページでは、お客さまにとってより見やすく、分かりやすいホームページをめざし、継続的な改善を図っています。当社グループの安全・安定供給に対する姿勢や想いに加え、新規事業やイノベーション、国際事業など新たな事業領域への挑戦について積極的に発信していきたいと考えています。



当社ホームページより



当社ホームページより

◆ SNSによる情報発信

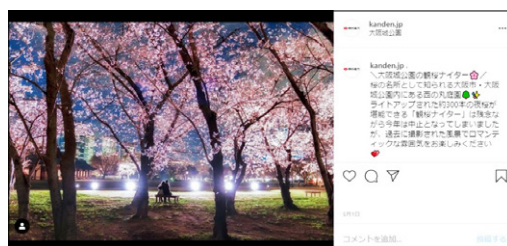
ソーシャルメディアでは、各媒体の特性を生かした情報発信を通じて当社グループ事業に共感していただきたいと考えており、Facebook、Twitterでは、働く従業員の姿にフォーカスを当てた投稿を通じて、当社グループの事業について身近に感じていただけるよう情報発信に努めています。また、Instagramでは、「灯り」をテーマとし、関西地域の美しい風景を紹介しています。



当社グループFacebookより



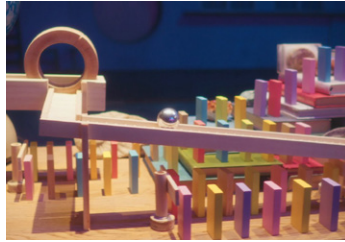
当社グループTwitterより



当社Instagramより

◆Web動画の公開

Web動画では、オリジナルの装置でLNG火力発電の仕組みを再現した「火力発電装置を作ってみた」、当社発電設備を擬人化した「設備擬人化シリーズ」を公開しました。やわらかい雰囲気映像や、人間味のあるストーリーで設備を表現しており、エネルギーや当社に親しみを感じていただければと考えています。



火力発電装置を作ってみた



設備擬人化

●エネルギーに関する理解活動

当社グループは、ステークホルダーのみなさまにエネルギーに関するご理解を深めていただくため、出前教室、広報ツールの制作などに取り組んでいます。今後もさまざまな機会、さまざまな取組を通じてご理解を賜れるよう努めていきます。

◆出前教室

未来を担う子どもたちに日本のエネルギー事情や環境問題への関心を高めていただくため、当社グループ従業員が講師として小・中学校などに伺う「出前教室」を実施しています。



出前教室



●社内コミュニケーション

原子力発電など経営上の重要事項をはじめ、当社グループの事業に関する情報や「power with heart」に関する取組などを、社内報や社内ポータル・テレビなどの媒体を通じて共有することで、従業員による「power with heart」の実践や、社内・グループ間のコミュニケーションの活性化に努めています。



経営層と従業員のコミュニケーション



社内テレビ等による社長メッセージの動画配信

●社会のみなさまの声を事業活動に反映

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの声に耳を傾け、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

●関連データ

	2018/3	2019/3	2020/3
自治体へのご理解促進活動	約6,200回	約4,600回	約5,100回
ボランティア休暇取得	57件 (184.5日)	63件 (161.5日)	87件 (201日)
社会貢献活動回数 (出前教室含む)	1,369回	864回	1044回
社会貢献活動額	40百万円	48百万円	48百万円
寄付金額	361百万円	430百万円	468百万円
	2018/6	2019/6	2020/6
構想が実現したサステナブルコミュニティの累計件数	5件	7件	10件